

## 今週（10月16日から10月20日）の短期金融市場動向

### ●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、マクロ加算残高にかかる基準比率が、69.5%(前期比+3.5%)と高水準であることを背景に、邦銀業態を中心に調達意欲が非常に強い展開となった。

無担保コールO/N物のレート水準は、積み初日となった16日(月)こそ▲0.03%前後での取引が中心となったが、その後は日を追う毎に上昇し、18日(水)と19日(木)には▲0.01%前後での取引が中心となった。20日(金)は、週末3日積みとなった事もあり、引き続き調達ニーズの強い展開が継続された。

ターム物に関しては、1~2W程度のショートタームを中心に、散発的な出会いが見られた程度となった。

日銀当座預金残高は、週を通して540兆円台後半で推移した。

### ●レポ市場

今週のGC T/N物は、▲0.12~▲0.09%近辺で推移する展開となった。投資家を中心とするオファーサイドが週を通して積極的であった事から、小甘い水準で推移した。

SC取引の個別銘柄では、2Y440~452回、5Y150~162回、10Y355~371回、20Y175~185回、30Y65~79回、40Y10~16回などで引合いが多く見られた。

### ●短国市場

今週の短国市場は、3M、6Mゾーンは横ばい圏で推移、1Yゾーンは入札があり、水準調整が行われた。

17日に実施された短国買入オペは、前回と同額の1,000億円を実施され、弱い結果となった。

19日に実施された1Y物入札は無難な結果となり、結果発表後のセカンダリーマーケットでも堅調に推移した。20日に実施された3M物入札も無難な結果となり、結果発表後のセカンダリーマーケットでは、こちらも堅調に推移した。

### ●CP市場

今週のCP発行市場は、鉄鋼、小売業、石油等複数の業態が大型発行を実施し、発行超のマーケットとなった。

市場残高は25兆円台半ばから始まり、19日には26兆円台前半まで増加した。

発行レートは、日銀適格担保銘柄では概ね0%前後での出会いが中心であったが、ロングターム物については一部の投資家に慎重な姿勢が見られ、引き続きレート水準にばらつきが見られた。

### ●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日物・ T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
10/16 (月)	31,659.03	0.750	149.54	△ 0.028	△ 0.119	5,456,100
10/17 (火)	32,040.29	0.780	149.55	△ 0.015	△ 0.107	5,478,300
10/18 (水)	32,042.25	0.805	149.80	△ 0.011	△ 0.105	5,466,400
10/19 (木)	31,430.62	0.840	149.76	△ 0.010	△ 0.100	5,475,100
10/20 (金)	31,259.36	0.835	149.85	△ 0.010	△ 0.095	5,470,200

## 来週（10月23日から10月27日）の短期金融市場動向

### ●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
10/23 (月)					
10/24 (火)					
10/25 (水)		流動性供給 5,000億円 10/26発行	交付税借入 13,000億円 11/2借入		9月の米新築一戸建て販売件数
10/26 (木)	9月の企業向けサービス価格指数(日銀 8:50)				ECB理事会 7-9月期の米GDP速報値 9月の米耐久財新規受注
10/27 (金)	10月の都区部消費者物価指数(CPI 総務省 8:30)	TB3M 56,000億円 10/30発行			9月の米個人所得・消費支出(PCE)

### ●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
10/23 (月)	100	8,700	8,800	CP買入 国債補完	▲ 300 34,100		33,800	42,600	TB3M発行▲56,000 償還58,000
10/24 (火)	▲ 1,000	2,000	1,000	社債買入		1,000	1,000	2,000	交付税借入 ▲13,000 期日13,000
10/25 (水)	▲ 1,000	3,000	2,000	全店共通	▲ 6,400		▲ 6,400	▲ 4,400	
10/26 (木)	▲ 1,000	▲ 5,000	▲ 6,000				0	▲ 6,000	流動性供給発行▲5,000
10/27 (金)	▲ 800	1,000	200				0	200	
週間合計	▲ 3,700	9,700	6,000	—	27,400	1,000	28,400	34,400	

10/23は日銀予想、10/24以降は当社予想

### ●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、積み期間の前半ではあるが、ビッドサイドの調達ニーズが非常に強いため、オファーサイドに大きな変化が無ければ、レートは引き続き高水準での推移が予想される。債券レポ GC T/N物は、参加者のスタンスに大きな変化が無ければ、レートは▲0.10～▲0.085%程度の水準で推移することが予想される。短国市場は、27日に3M物の入札実施が予定されている。また、24日に実施が予想される短国買入オペは、1,000億円程度が見込まれる。CP市場は、26日にCP等買入オペが4,000億円予定されており、結果が注目される。

主要なイベントは、国内では27日に10月の都区部消費者物価指数、海外では、26日にECB理事会、7-9月期の米GDP速報値、27日に9月の米個人所得・消費支出(PCE)などの発表が予定されている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。  
◆本資料は何かの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。  
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入